

## 第 73 回 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

I. 日 時：2017 年 1 月 20 日（金） 13 時 30 分～17 時 10 分

II. 場 所：東京大学工学部 3 号館 322 会議室

III. 出席者：青山(東大)、樺田(MHPS)、倉富(東電 FP)、逢澤(MHPS 日立)、水谷(東工大)、  
原田(東芝)、長谷川(発電技検)、飯田(東電 FP)、飯島(日溶協)、大橋(中  
電)、幅野(IHI)

欠 席：山下(神鋼)

オブザーバー：辻(関電)

事務局：原

### IV. 配付資料

- 73-1 第 72 回溶接分科会議事録(案)
- 73-2 溶接分科会委員名簿
- 73-3 第 78 回火力専門委員会報告
- 73-4 第 80 回発電設備規格委員会議事録(案)
- 73-5 発電用火力設備 誤記対応方針
- 73-6 用語集
- 73-7 ダブルチェックの進め方
- 73-8-1 レビュー票(東電 FP)
- 73-8-2 レビュー票(コメント反映、MHPS 日立)
- 73-9-1 レビュー票(ダブルチェック結果反映、MHPS)
- 73-9-2 欠番
- 73-9-3 レビュー票(ダブルチェック結果反映、中部電力)
- 73-10 審議履歴表
- 73-11 規格の概要説明資料
- 73-12 火技解釈改正：溶接関係

### V. 議事

1. 前回議事録確認 [資料 73-1]  
前回議事録(案)について確認を行い、議事録(案)が承認された。
2. 分科会委員・役員の承認 [資料 73-2]  
○出席委員全員の賛成により、辻委員を新任候補として、次回火力専門委員会へ推薦  
することが承認された。
3. 報告事項  
(1)火力専門委員会報告 [資料 73-3]

11月16日開催の第78回火力専門委員会の主要項目が報告された。

○火力専門委員会委員、各分科会委員の承認

○第72回溶接分科会報告

- ・用語集のメンテナンスについて
- ・発電用火力設備規格201X年版レビュー票の審議状況
- ・誤記対応方針案の審議

○審議結果報告

- ・発電用火力設備 誤記対応方針の承認
- ・火原協の「火力設備技術基準解説改訂事業部会」への委員派遣

## (2)規格委員会報告

[資料 73-4]

12月7日開催の第80回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- ・火力専門委員会(11/16開催)報告

## (3)発電用火力設備 誤記対応方針

[資料 73-5]

11月16日開催の第78回火力専門委員会において承認された発電用火力設備 誤記対応方針が、事務局より紹介された。

今後、規格改訂時には変更箇所一覧を作成し規格に添付することを、確認した。

## (4)火技解釈の改正（溶接関係）に関する情報共有

火技解釈の改正（溶接関係）が12月26日に施行されたため、この改正内容の情報共有を行った。これは、火技解釈の改正自体は直接の関係は無いが、JSME規格の省令適合性の説明において火技解釈をベースに比較するなど関連があること、及び関連情報として情報共有を行った。各委員が、必要に応じ内容を確認する。

## 4. 審議事項

### (1)用語集の確認

[資料 73-6]

倉富幹事が、3分科会共通の用語集について、新たな追記・変更箇所の確認を行った。今後も、各委員が追記・修正すべき用語について赤字で記載し、次回の分科会において確認する。コメント等は以下のとおり。

○magnetizing(magnetic) field … 磁場か、磁界なのかを確認する。

○intenal … internal （溶接分科会の提案ではないが）

○Gas Tungsten-Arc Welding(GTAW) … ガスツングステンアーク溶接とせずに JIS 用語に合わせてティグ溶接に統一する。GTAWの表記はそのまま残す。

### (2)ダブルチェックの進め方について

樺田副主査が資料に基づき、ダブルチェックの進捗状況を確認するとともに、今後の進め方、スケジュールについて審議・確認を行った。今後の進め方は以下のとおり。

○2017年8月下旬頃開催される火力専門委員会での改訂提案を目途に準備を進める。

準備する資料は、新旧対比表とその補足資料、提案書の鏡など。新旧対比表の書式

案は事務局が提示する。

新旧対比表の作成時には、並行して変更箇所一覧(Summary of Change)作成の作業を進める。

○ダブルチェックは、次回の分科会（4/21）で完了することを目標とする。

進捗状況により追加で分科会を開催することとする。

- ・ダブルチェック担当委員が行うチェックは2月中に完了することを目安とする。  
ダブルチェックが完了したら、そのパートの担当委員ともう一人のダブルチェック担当委員にその旨メールにて連絡するとともに、CC.を三役と事務局に入れる。
- ・単純な誤記などは、メールベースで修正を進める。3月中にダブルチェック結果の反映を完了することを目標とする。技術的な内容やその他審議が必要な事項は次回分科会にて審議を行う。

### (3) レビュー票審議

1) VII章 アーティクルⅣ QW-422（東電FP） [資料 73-8-1]  
倉富委員からレビュー票の修正箇所について説明があり、審議を行い提案どおりで良いことを確認した。

2) VI章 アーティクル 4 AppendixⅦ (MHPS 日立) [資料 73-8-2]  
逢澤委員から前回のコメントを反映したレビュー票について説明があり、審議を行った。審議の結果、提案どおりで良いことを確認した。  
なお、規格の年版の記載については、VI章アーティクル 1 担当の長谷川委員が検討することとした。

### (3) レビュー票ダブルチェック結果反映

1) レビュー票（ダブルチェック結果反映、MHPS） [資料 73-9-1]  
VII章アーティクルⅡ  
樺田委員が、ダブルチェック結果を反映したレビュー票を説明した。

○QW-200.2 (b)

- ・4つ目のセンテンス、If variables～ の文章を分かり易く見直す。

○QW-200.4

- ・(a) 範囲が、母材厚さと最大溶接金属厚さの両方の範囲なのかどうか、確認する。
- ・(b) GTAW,SMAW,GMAW,PAW,SAW … 略称を全体の中で、いずれかの箇所で説明した方が良いか検討する。(例えば、QW-200.1)

○QW-202.2

- ・shall の訳を反映する … 「認証させること」などに修正

○QW-284

- ・移動された → 移動した
- ・は、いつでも → は、~~いつでも~~ （消し忘れ）

○QW-290.6(a)

- ・工程中補修 → 工程中補修 （修正忘れ）

2) レビュー票(ダブルチェック結果反映、中部電力)

[資料 73-9-3]

Ⅵ章アーティクル 6

大橋委員が、コメントを反映したレビュー票を説明した。

○T-676.1

formation of indication … 指示模様 → 指示模様の形成

(4)規格の活用について

[資料 73-1 1]

○樺田副主査から、第 78 回火力専門委員会において、現在検討中の JSME 規格の概要説明資料の紹介と溶接分科会での議論を説明したことが報告され、説明資料について意見交換を行った。

○意見交換を受け、樺田副主査が資料の最終ページの規格の適用イメージのシートについて、4月以降の新しい制度を反映したものに見直す。その際、適用範囲の明確化（ボイラ及びその附属設備のみである旨）、メーカー等の技術を積極的に取込み、規格ユーザーが使い易くてメーカー等にメリットがある規格の方向性を検討する。

Ⅵ. 次回開催予定

・日時：2017 年 4 月 21 日（金）13 時 30 分から

・場所：東京大学 本郷

以 上